

宮永岳彦記念美術館だより

2018 6月



発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

市民ギャラリーのご案内

入場無料

宮永岳彦
グラフィック
デザイン展

2018年 5月23日(水) - 11月25日(日)

第16回 秦野写真連盟 写真展

6月5日(火)~6月10日(日)
10:00~17:00 (初日 13:00から 最終日 15:30まで)

加盟 10 団体の会員による写真展です。本年もご来場のお客様と会員の投票による写真コンテストを実施致します。

◆◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆◆

《松坂屋「歳暮大売出し」ポスター》



黒いワンピースを身にまとったこの女性は、松坂屋百貨店でおしゃれな帽子を買ったところでしょうか。

当時の最先端ファッションを着こなす女性を颯爽と描き出したこのポスターは、宮永が松坂屋銀座店の宣伝部時代に制作したもので、油彩画特有の重めの質感と勢いのあるタッチを調和させ、戦後の新時代をしなやかに生きる新しい女性像を映し出しています。

「図案(デザイン)といっても描くからには一本の線に重い価値がなくてはならない」との言葉どおり、宮永のポスター作品の多くは、絵画作品としても充分鑑賞できるものとなっています。ぜひ会場でご覧ください。

印刷物 制作年不明 85.0×60.0cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

齊藤進
天空の黄河 写真そして絵画・陶芸による

6月13日(水)~6月17日(日)
10:00~19:00 (初日 10:00から 最終日 17:00まで)

チベット人のタルチョが風に舞う。一望千里の大草原は神の世界である。黄河の源は 4500m の天空に発する。

水彩スケッチ四季 第一回作品展

6月20日(水)~6月24日(日)
11:00~17:00 (初日 11:00から 最終日 15:00まで)

私達は光と空気感を大切にしたい水彩画を描いています。神奈川各地やヨーロッパの風景、花の水彩画を展示します。

2018.7月の市民ギャラリー展覧会の予定	
KEI 押し花倶楽部	7月14日(土)~7月16日(月)
山口 博 写真展	7月18日(水)~7月22日(日)
南が丘写友会(仮)	7月24日(火)~7月29日(日)

12月の市民ギャラリーのご利用について

現在、当館では壁面クロス張替え工事を予定しています。そのため **2018年12月**は市民ギャラリーをご利用いただけません。日程等変更がありましたらお知らせします。問い合わせは生涯学習文化振興課(Tel.84-2792)へ。

美術館へのアクセス

◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

デザイン × 松坂屋百貨店

このコーナーでは、宮永のデザイン作品と、依頼主たちとのかかわりをご紹介します。初回は、松坂屋百貨店です。宮永は1936年、17歳で松坂屋百貨店名古屋本店に入社しました。しかし戦時中2度応召、戦後になって復員します。復員後は銀座店宣伝部に所属し、ポスター、ディスプレイ、包装紙など様々なデザインを手掛けました。その斬新な作風は評判となり、宮永の仕事は松坂屋の枠を超えて急拡大します。彼の美のセンスは、松坂屋と銀座という街に生まれ、洗練されていったと言えるでしょう。

《松坂屋「春の新装雑貨サロン」ポスター》 1960年

6月の休館日：4日(月) 11日(月) 18日(月) 25日(月)